基準値一覧

目　　次

血球数・血液像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
凝固・線溶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
リンパ球サブセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
生化学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
脳脊髄液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
内分泌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
腫瘍マーカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
自己抗体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
感染症・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
尿沈査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
尿定性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
血液ガス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

2001 年	9 月	1 日	初版
2003 年	4 月	1 日	一部改訂
2003 年	12 月	12 日	一部改訂
2004 年	4 月	1 日	一部改訂
2004 年	11 月	1 日	一部改訂
2005 年	8 月	1 日	一部改訂
2005 年	12 月	1 日	一部改訂
2006 年	4 月	7 日	一部改訂
2006 年	10 月	1 日	一部改訂
2007 年	3 月	1 日	一部改訂
2008 年	4 月	1 日	一部改訂
2009 年	4 月	1 日	一部改訂
2010 年	1 月	15 日	一部改訂
2010 年	7 月	1 日	一部改訂
2010 年	10 月	1 日	一部改訂
2014 年	2 月	21 日	一部改訂
2014 年	7 月	1 日	一部改訂

独立行政法人国立病院機構　仙台医療センター　臨床検査科

血球数・血液像

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
白血球数	3.5～9.0	×10³/μL	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983
赤血球数	♂430～570 ♀380～500	×10⁴/μL	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983
ヘモグロビン	♂13.5～17.6 ♀11.3～15.2	g/dL	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983
ヘマトクリット値	♂40.0～52.0 ♀33.0～45.0	%	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983 (分析機対応にて少数点1位表示)
血小板数	13.0～37.0	×10⁴/μL	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983
平均赤血球容積(MCV)	80～101	fL	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983
平均赤血球血色素量(MCH)	27.0～34.0	pg	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983 (分析機対応にて少数点1位表示)
平均赤血球血色素濃度(MCHC)	31.0～36.0	%	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983 (分析機対応にて少数点1位表示)
赤血球容積分布幅(RDW)	11.8～14.1	%	
赤血球ヘモグロビン濃度分布幅(HDW)	1.90～2.80	g/dL	
平均血小板容積(MPV)	6.0～12.0	fL	
血小板容積分布幅(PDW)	25.0～65.0	%	

血液像(自動分析)

好中球	40.0～80.0	%	ｼｰﾒﾝｽ機器取扱説明書
リンパ球	20.0～50.0	%	ｼｰﾒﾝｽ機器取扱説明書
単球	2.0～12.0	%	ｼｰﾒﾝｽ機器取扱説明書
好酸球	1.0～10.0	%	ｼｰﾒﾝｽ機器取扱説明書
好塩基球	0.0～3.0	%	ｼｰﾒﾝｽ機器取扱説明書
網状赤血球	0.5～2.5	%	ｼｰﾒﾝｽ機器取扱説明書

血液像(目視)

桿状核球	0.0～15.0	%	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会.1983 (小数点1位表示)
分節核球	30.0～70.0	%	
リンパ球	20.0～55.0	%	
単球	0.0～12.0	%	
好酸球	0.0～10.0	%	
好塩基球	0.0～3.0	%	
血沈 1hr	♂1～10 ♀3～15	mm	臨床検査法提要改訂第31版.1998

凝固・線溶

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
トロンボテスト(TT)	70 以上	%	三光純薬の試薬説明書
プロトロンビン時間(PT)	70～130	%	シスメックスの試薬説明書
プロトロンビン時間 INR	0.90～1.10		血液凝固検査ハンドブック.1992 (分析機対応にて小数点 2 位表示)
活性部分トロンボプラスチン時間(APTT)	30.0～40.0	秒	臨床検査法提要改訂第 31 版.1998 (分析機対応にて小数点 1 位表示)
フィブリノゲン(Fib)	200～400	mg/dL	臨床検査法提要改訂第 33 版.2010
出血時間	1～3	分	臨床検査法提要改訂第 31 版.1998
全血凝固時間	8～12	分	臨床検査法提要改訂第 31 版.1998
FDP	5 以下	μg/mL	臨床検査法提要改訂第 33 版.2010
D ダイマー	1.0 未満	μg/mL	文献:吉田忠夫他:医学と薬学 54(2) 219-222 2005 より引用
アンチトロンビンⅢ(AT－Ⅲ)	80～130	%	臨床検査法提要改訂第 33 版.2010
血小板停滞率(血小板粘着能)	15.0～70.0	%	臨床検査法提要改訂第 31 版.1998 (小数点 1 位表示)

リンパ球サブセット

T・B 細胞百分率			
CD3	55.0～89.0	%	臨床検査法提要改訂第 31 版,1998
CD19	4.0～23.0	%	臨床検査法提要改訂第 31 版.1998
T 細胞サブセット			
CD4	27.0～60.0	%	臨床検査法提要改訂第 31 版.1998
CD8	16.0～42.0	%	臨床検査法提要改訂第 31 版.1998

生化学　　(試料名のない項目は血清の検査値を示す)

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
総タンパク	6.7～8.3	g/dl	ビウレット(Biuret)法 金井泉、金井正光二臨床検査提要第 31 版:1998 自施設追跡調査統計にて確認.2002
アルブミン	3.8～5.3	g/dl	ブロムクレゾールパープル(BCP)法 金井泉、金井正光；臨床検査提要第 32 版:2005 試薬メーカーカイノス社内データ
T-Bi1	0.2～1.2	mg/dl	酵素法 試薬メーカーアルフレッサファーマ社内データ 自施設追跡調査統計にて確認.2002
D-BiI	0.0～0.3	mg/dl	酵素法 試薬メーカーアルフレッサファーマ社内データ 自施設追跡調査統計にて確認.2002
TTT	0.0～5.0	U	チモール混濁反応 金井泉、他；臨床検査提要第 29 版、712:1983
ZTT	4.0～12,0	U	硫酸亜鉛混濁反応 金井泉;臨床検査法提要 29 版,711.1983
AST	7～38	IU/L	JSCC 標準化対応法 日本臨床化学会臨床化学 18、231:1989 自施設追跡調査統計にて確認.2002
ALT	4～43	IU/L	JSCC 標準化対応法 日本臨床化学会臨床化学 18、255:1989 自施設追跡調査統計にて確認.2002
LDH	119～229	IU/L	JSCC 標準化対応法 豊原美津子,福岡県 5 病院会;臨床化学.27 補冊 2　p270～280.1998 自施設追跡調査統計にて確認.2002
ALP	104～338	IU/L	JSCC 標準化対応法 桑克彦;医学検査.42(2),188,1993 自施設追跡調査統計にて確認.2002
γ一 GTP	10～63	IU/L	JSCC 標準化対応法 木下幸子、他福岡県 5 病院会:臨床化学 24 補冊 2　p250～254:1995 自施設追跡調査統計にて確認.2002
Ch-E	185～431	IU/L	JSCC 標準化対応法 山道宏、他臨床検査 29(7)、825:1985 自施設追跡調査統計にて確認.2002

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CPK	44～208	IU/L	JSCC 標準化対応法 木下幸子、他福岡県 5 病院会:臨床化学 24 補冊 2　p250～254:1995　自施設追跡調査統計にて確認.2002
CPK-MB	7～25	IU/L	免疫阻害法 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）より
CK-MB 蛋白	0.6～3.5	ng/ml	電気化学発光免疫測定法（ECLIA） 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）より
トロポニン T	0.014 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法（ECLIA） 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）より
ミオグロビン	20～82	ng/ml	電気化学発光免疫測定法（ECLIA） 試薬添付文書（ロシュ・ダイアグノスティクス社）より
アミラーゼ	37～120	IU/L	JSCC 標準化対応法(GAL-G5-4NP 法) アルフレッサファーマ社内データ 酒井寛、他；医学と薬学 34(1),p189～195:1995 自施設追跡調査統計にて確認.2002
尿アミラーゼ	8～550	IU/L	JSCC 標準化対応法(GAL-G5-4NP 法) アルフレッサファーマ社内データ
リパーゼ	6～48	IU/L	合成基質(DGGMR)レート法 アルフレッサファーマ社内データ:2005
尿 NAG	0～11.5	IU/L	6－メチルー2－ピリジルーN－アセチルー1－チオーβ－D－グルコサミニド(MPT-NAG)法ニットーボー試薬説明書
BUN	8～20	mg/dl	ウレアーゼ・GLDH・ICDH 消去法 金井正光;臨床検査法提要第 30 版 149　508～512：1993 自施設追跡調査統計にて確認.2002
クレアチニン	♂0.61～1.04 ♀0.47～0.79	mg/dl	酵素法 大沢進;MedicalTechnology26389:1998 市原文雄;臨床化学 24(補冊)229:1995
尿酸	♂4.0～7.0 ♀3.0～5.5	mg/dl	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン 2002 自施設追跡調査統計.2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血漿アンモニア	12～66	μg/dl	酵素法 日本臨床増刊 683P478:1995
総コレステロール	130～219	mg/dl	コレステロール酸化酵素法 日臨技臨床検査精度管理調査報告書：2001 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2002
HDL コレステロール	40～104	mg/dl	化学修飾酵素法 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2002 試薬メーカー協和メディックス社内データ;1997 自施設遡跡調査統計にて確認.2002
中性脂肪	30～149	mg/dl	酵素法 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 31 版:1998 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2002 自施設追跡調査統計にて確認.2002
LDL コレステロール	70～139	mg/dl	直接法 日本臨床増刊号広範囲血液・尿化学検査 免疫学的検査 2　第 6 版:2004
Ｎａ	139～146	mEq/1	イオン選択電極希釈法 自施設追跡調査統計:2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
K	3.7～4.8	mEq/1	イオン選択電極希釈法 自施設追跡調査統計:2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
C1	101～109	mEq/1	イオン選択電極希釈法 自施設追跡調査統計:2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
Ca	8.5～10.5	mg/dl	アルセナゾⅢ法 試薬メーカーカイノス社内データ 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
P	2.5～4.5	mg/dl	酵素法 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 31 版:1998 自施設追跡調査統計にて確認.2002
Ｍｇ	1.8～2.3	mg/dl	酵素法 金井正光:臨床検査提要第 32 版：574-577(2005)
鉄	♂54～181 ♀43～172	μg/dl	Nitroso-PSAP 法（直接比色法） 山田満廣、他　日本臨床検査自動化学会誌 13（5）、659:1988 自施設追跡調査統計にて確認.2002

自施設追跡調査統計にて確認:職員健康診断血清を用いて実施した。

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血糖	60～110	mg/dl	GOD 電極法 日本糖尿病学会の診断基準より設定
HbAlc	4.3～5.8(JDS) 4.6～6.2 (NGSP)	%	高速液体クロマトグラフィー(HPLC)法 島健二ほか;糖尿病,37.855-864.1994
蛋白分画			キャピラリー電気泳動法 フィンガルリング社設定
A/G	1.52～2.5		
Albmine	55.8～66.1	%	
α1-glob.	2.9～4.9	%	
α2-glob,	7.1～11.8	%	
β1 一 glob.	4.7～7.2	%	
β2 一 glob.	3.2～6.5	%	
γ 一 glob.	11.1～18.8	%	
CRP	0～0.3	mg/dl	ラテックス凝集法 試薬メーカーデンカ生研社内データ 自施設追跡調査統計にて確認,2002
IgG	870～1700	mg/dl	免疫比濁法 河合忠;臨床病理臨時増刊号特集 101 号 207-209:1996
IgA	110～410	mg/dl	免疫比濁法 河合忠;臨床病理臨時増刊号特集 101 号 207-209:1996
IgM	35～220	mg/dl	免疫比濁法 河合忠;臨床病理臨時増刊号特集 101 号 207-209:1996
IgE	232 以下	IU/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2006.8
C3	69～128	mg/dl	免疫比濁法 菅野剛史;臨床検査機器・試薬.20(6),817-821:1997
C4	14～36	mg/dl	免疫比濁法 菅野剛史;臨床検査機器・試薬.20(6),817-821:1997
β2MG	0.5～2.0	mg/1	ラテックス比濁法 日本臨床 57 巻.増刊号(1).236-238:1999

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
ビタミン B12	233～914	pg/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
葉酸	3.6～12.9	ng/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
sIL-2R	332.9～586.7	U/ml	ELISA 法 協和メデックス社試薬説明書
プレアルブミン	♂23～42 ♀22～34	mg/dl	免疫比濁法 ニットーボーメディカル試薬説明書 河合忠他;臨床病理(特集 101 号).207-209.1996
レチノール結合蛋白	♂3.6～7.2 ♀2.2～5.3	mg/dl	ラテックス免疫比濁法 ニットーボーメディカル試薬説明書 平林庸司他;医学と薬学.45(6).1031-1039.2001
トランスフェリン	♂190～300 ♀200～340	mg/dl	免疫比濁法 ニットーボーメディカル試薬説明書 河合忠他;臨床病理(特集 101 号).207-209.1996
血漿浸透圧	275～290	mOsm/l	金井泉;臨床検査法提要.改定 32 版.2005
尿浸透圧	50～1300	mOsm/l	金井泉;臨床検査法提要.改定 31 版.1998

脳脊髄液

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
髄液細胞数	0/3～15/3	/μl	
髄液比重	1.005～1.007		金井泉;臨床検査法提要.改定 32 版.2005
髄液蛋白量	10～40	mg/dl	金井泉;臨床検査法提要.改定 32 版.2005
髄液糖量	50～75	mg/dl	金井泉;臨床検査法提要.改定 32 版.2005
髄液 Cl	120～125	mEq/l	金井泉;臨床検査法提要.改定 32 版.2005
髄液 LD	<25	mU/ml	金井泉;臨床検査法提要.改定 32 版.2005

ホルモン

項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
TSH	0.55～4.78	μ IU/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
FT3	2.13～4.07	pg/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
FT4	0.95～1.74	ng/dl	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
NT-BNP	125 (心不全除外値)	pg/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2006.12

コルチゾール(μg/dL)化学発光免疫測定法(アボット社試薬説明書)

	体採取時間	検体数	基準範囲
血清	午前 10 時以前	150 例	3.7～19.4
血清	午後 5 時以降	150 例	2.9～17.3
尿	24 時間蓄尿	128 例	4.3～176.0/24 時間

LH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボット社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	199 例	0.57～12.07
(月経周期正常女性)		
卵胞期	303	1.8～11.78
中間期ピーク	64	7.59～89.08
黄体期	294	0.56～14
ホルモン補充治療を受けていない 閉経後の女性	124	5.16～61.99

FSH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボット社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	54 例	1.37～13.58
(月経周期正常女性)		
卵胞期	136 例	3.35～21.63
中間期ピーク	24 例	4.97～20.82
黄体期	87 例	1.11～13.99
閉経後の女性	41 例	2.58～150.53

PRL(ｎｇ/mL)化学発光免疫測定法(シーメンス社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
卵胞期	27 例	4～26.8
排卵期	21 例	6.0～40.9
黄体期	17 例	1.2～33.6
有経女性	65 例	3.5～32.7
閉経女性	57 例	0.6～18.5
男性	72 例	3.7～16.3

E2(ｐｇ/mL)化学発光免疫測定法(アボット社試薬説明書)

	検体数	95%範囲
男性	101 例	11～44
(月経周期正常女性)		
卵胞期	385 例	21～251
中間期	105 例	38～649
黄体期	466 例	21～312
(閉経後の女性)		
ホルモン補充療法なし	50 例	<10～28
ホルモン補充療法中	22 例	<10～144

腫瘍マーカー

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CEA	3,4 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認.2002
AFP	6,2 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認 2002
CA19-9	37.0 以下	U/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認.2002
CA125	35.0 以下	U/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認.2002
CA15-3	25,0 以下	U/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認 2002
PSA	4.000 以下	ng/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書
フェリチン	♂39.9～465.0 ♀6.2～138.0	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.12
NSE	15.2 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.12
シフラ	2.8 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.12
SCC 抗原	1.5 以下	ng/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書
p53 抗体	1.30 以下	U/ml	ELISA 法 MBL 社試薬説明書

自己抗体

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
RHF	0～20	IU/ml	ラテックス免疫比濁法 試薬メーカーヤトロン社内データ
CH50	30～50	U/ml	リボソーム免疫測定法 試薬メーカー和光純薬社内データ:1996
抗 DNA-ds 抗体	0～12	IU/ml	ELISA 法 試薬メーカーMBL 統計データ
抗核抗体	0.0～20.0		ELISA 法 試薬メーカーMBL 統計データ
寒冷凝集反応	16 以下	倍	金井　泉;臨床検査提要. 改定 31 版. 1998

感染症

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
ASO	16 才以下 0～250 16 才以上 0～200	IU/ml	ラテックス凝集法 加納像次郎;日本臨床増刊号下 121-125. 1995 試薬メーカーヤトロン社内データ
HBs 抗原	0.05 未満を陰性	IU/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書 2007. 1
HBs 抗体	10.0 未満を陰性	mIU/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書 2007. 1
RPR	1.0 未満を陰性	R.U.	ラテックス比濁法 極東製薬試薬説明書 2002,12
TPHA(TPLA)	20 未満を陰性	T.U.	ラテックス比濁法 極東製薬試薬説明書 2002. 12
HIV 定性検査	1.0 未満を陰性	S/CO	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書 2007. 1
HTLV-1 抗体	陰性		試薬添付文書

尿検査(沈渣)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
赤血球	4個以下/HPF	日本臨床検査標準議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4　尿沈渣検査法 2010
白血球	4個以下/HPF	日本臨床検査標準協議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4　尿沈渣検査法 2010
円柱	(-) 硝子円柱は正常でも出現する場合がある	日本臨床検査標準協議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4　尿沈渣検査法 2010

尿検査(定性)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
比重	1.005～1.030	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
PH	5.0～7.5	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
蛋白	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
糖	(一)	月刊 MedlcalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
ケトン体	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
潜血	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
ウロビリノーゲン	(+一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
ビリルビン	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
亜硝酸塩	(一)	月刊 MedicalTechnoiogy 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年
白血球	(一)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査　医歯薬出版 2004 年

血液ガス

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
PH	7.35～7.45		
PCO2	35～45	mmHg	
PO2	70～100	mmHg	
SAT	90～100	%	